

あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL0551-25-5900

FAX 0551-25-5906

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



～信和会 桃畑より～

歴史・その重厚な歩み



信和会 監事 藤巻 譲治

私は平成18年5月、社会福祉法人信和会の法人監事に任命され、以来運営の一翼を担わせて頂くようになりました。

翌年平成19年1月、東京で行われた「法人監事専門講座」に先輩監事の岩下氏と出席し厳しい講義を受ける機会を得ました。県内に何十箇所もある社会福祉法人の内、この講座への参加は信和会を含め2法人でした。不参加の法人が多い事は監事の役割を軽ろんでいるのがと疑問に思えました。この講座で私達は公共的使命を重く受け止め厳正に監事の役目を果す事を誓いこれからも己の身を挺して果す所存です。

開設当時を想起しますと、会長、栗原信雄様は人・金・運営など全く暗中模索の手探りの日々であった事でしょう。今日まで幾多の変遷を経て、間もなく創立30年の大きな節目を向かえ、“信和会は磐石な体制を築いた”と監事として受け止めております。

歴史と申しますと、私事で恐縮ですが、私自身の歴史について述べたく存じます。

私は北巨摩郡（現在の北杜市）^{ほくとし}田舎に生まれ高校への通学は、隣村の旧穂足村（現在の北杜市須玉町大豆生田）^{ほたりむら}から穴山駅まで徒歩で1時間の道のりを、3年間風雪に耐え往復しました。昭和25年頃ですので、まだ戦後という言葉が当たり前に使われておりました。私の家も貧しかったのですが、周辺の人々というより、日本中の多くの人が貧しい時代でした。

私は今でも穴山駅に立つ機会が毎月あり、その都度、感傷と望郷の念がこみあげて参ります。

この60年、穴山駅周辺の変わりようには、まるで浦島太郎になった思いです。ただその60年の経過の中に様々な出来事があり、今その歴史の一步一步の歩みを振り返っています。

「過去を忘れた者に未来は無い」石川啄木の詩集の中で評論家が書評として書いております。

社会福祉法人信和会も、起業された多くの方も一朝一夕に事を成したのではないと思います。

私も脱サラし一念発起して会社を起こしたのが昭和44年でした。日本経済は成長の一途で明日に向けて何の不安もなく、「揺籃慢心」の日々だったかも知れません。しかし、それは、うたたかではありませんでした。次に来たものは大不況でした。当然のごとく私自身「満身創痍」思いがけない大きな負債を背負い、明日の会社の行方すら分からない非常事態になりました。あらゆる手を尽くして再生するまでは、凄惨な日々連続でした。今思うと、その事態が多くを学ぶ一つの過程でもありました。最近はその難行の末に自己を凝視し自身の所業を改めて見直す日々です。

さて次に本筋の福祉について感じたままを述べさせていただきます。私共は建設業の中でも内装の仕事を目指してはや43年が経過しました。ここ数年は特別養護老人ホームをはじめとする福祉施設の多くの建設に関与させていただきました。例えば、平成23年1年間だけでも、大型特養施設5件の現場を施工し、それらの建物の構造、諸設備等々注意深く拝見させていただきました。「穴山の杜」以外の施設は殆どが市街地に立地し様々な制約があります。自然豊かな信和会はその点でも比較出来ないくらい勝っていると思います。

また経営姿勢や運営方針では、まずオーナーの理念が大きく係ってくると思います。信和会は他には見られない崇高な理念と信念を持っています。

将来、最晩年を迎えるに当って、何処を選ぶべきか考える時、施設の「理念」は最も重要な判断材料になると思います。私は監事に任命されてから、信和会を訪問する度に、格調高いロビーで絵画やアート作品に触れ心身ともに癒され、この役を務める事に大きな喜びと誇りを感じております。

今回の寄稿に際し多くの方の共感を得られるべく硬軟おりませず文章を考えましたが、一気呵成には出来ず、思いの外稚拙な文章になってしまいました。

最後に寄稿の機会を頂きました事を心より感謝申し上げて終わりとさせていただきます。

本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
Tel.0551-25-6100
E-mail: honbu@sip-shinwakai.jp



理事会・評議委員会報告

開催日：平成24年5月19日（土）

開催場所：穴山の杜 集会室

審議次項：第1号議案 平成23年度事業報告について
第2号議案 平成24年度決算報告について
第3号議案 監事監査報告について
第4号議案 改修工事について
第5号議案 評議員の選任について
第6号議案 その他



平成24年度 第1回目の理事・評議員会で上記の議案が審議され、すべての項目について承認を得られたことをご報告いたします。

特記すべき事項としては、第5号議案の評議員の選任について、昨年度までの評議員 奥水 秀志様は韮崎高校を3月31日で退職されました。それに伴い、当法人では役職指定で韮崎高校の校長を評議員に選任しているため、後任の赤岡 正毅様を選任いたします。

第6号議案 その他の中で、相談支援事業の開始時期を韮崎市の担当者と相談したところ、改修工事終了後の事業開始ではなく間借りでも事業開始は出来るという事でした。事業所名は「さくら」と決定し、当面の間、事業所設置場所を特別養護老人ホーム 穴山の杜の事務所として韮崎市へ指定申請書を提出し、7月1日の事業開始に向け準備をすすめております。

平成23年度 決算報告

貸借対照表

単位千円

事業活動収支計算書

単位千円

流動資産	560,149	流動負債	178,705
基本財産	729,714	固定負債	376,156
固定資産	450,470	負債の部合計	554,861
		基本金	226,533
		国庫補助特別積立	347,059
		その他の積立金	1,940
		次期繰り越活動収支差額	609,940
		純資産部合計	1,185,472
資産の部合計	1,740,333	負債及び純資産合計	1,740,333

介護保険収入	268,414
自立支援費収入	293,971
就労支援事業収入	8,409
その他の収入	71,166
国庫補助金等特別積立金取崩額	43,241
事業活動収入計	685,201
就労支援事業支出	8,805
人件費支出	367,303
事務費支出	72,761
事業費支出	81,858
その他の支出	62,063
事業活動支出計	592,790
事業活動収支差額	92,411
事業活動外収支差額	-1,301
経常収支差額	91,110
特別収支差額	3,735
当期活動収支差額	94,845
次期繰越活動収支差額	609,940

穴山の里だより

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164
TEL0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp



2代目 宇宙大豆!

昨年穴山の里から宮坂醸造様を通して宇宙へ行った「ナカセンナリ」大豆50粒は山梨県立農林高校で大切に育てられました。平成24年6月13日に宮坂醸造様、リバネス様より宇宙教育プロジェクト研究校の研究許可証を頂き、二代目宇宙大豆となり、穴山の里へ帰って来ました。

穴山の里では6月28日に宇宙大豆の種を植えました。7月2日には元気に発芽しました。今年度は種用に育て、将来は宇宙大豆味噌を作りたいと思います。



①



桃太郎成長記



昨年度、穴山の里では、桃畑を購入しました。

皆さんご存知でしょうか？桃は、バラ科サクラ属の植物です。桃の手入れについて少し紹介します。

桃の枝は、成長が早く冬より、剪定（せんてい）をして枝を切り、桃の木の形を整えます。また桃は一本の枝に大量の花が咲くため、蕾のうちに摘蕾（てきらい）をします。春、花をたくさんつけた枝の花を適度に摘みとることが重要で、大きな実が出来ます。残した果実を病気や害虫から守るために袋をかけます。袋は桃の品種により、一重・二重と袋を使い分けます。袋掛けが終わると、早速次の作業に移ります。反射マルチ（シルバー）という日光の反射率の高いシートを木の下に敷く作業です。これを敷く事により桃の着色を向上させる事が出来ます。適度な大きさになるまで、袋の中で成長させ、時期を見計らって袋を取る作業、除袋（じょたい）をします。後は、太陽の光をいっぱい浴びて甘い桃になるのを待ちます。しかしその間、放っておくわけではありません。シルバーを敷きっぱなしだと、桃も日焼けをしてしまいます。そしていよいよ収穫です。

さらに、桃は果実だけでなく、葉も利用出来ます。桃農家では当たり前のよう利用されています。まず、桃の葉を枝から取り、よく洗います。そして袋に入れ煮出しお風呂に入れて入浴剤として楽しみます。今年は桃の葉のエキスの入浴剤を入れてお風呂を楽しみたいと思います。

穴山の里で育てている桃の一つに印をつけ、桃太郎と名前をつけました。日々の成長記録を取っています。現時点までの成長過程をご覧ください。

①袋掛け・・・この品種は二重の袋を使用します。

②シルバー敷き

③除袋・・・二重の袋は外側のみ袋を取ります。

④色づきの確認



②



③



④

～ホタルも楽しむ夕べ～



6月16日、穴山町主催のホタルを楽しむ夕べが開催され、今年度は、東京藝大の学生さんによる尺八の演奏がありました。

空が薄暗くなった頃とランタンに囲まれての演奏、そして聞こえてくる音色は風景と共鳴し幻想的でとても魅力あるステージでした。



アカザの杖を寄贈しています

仙人が持っている杖と言ったらアカザの杖ですよね。そして晩年、実在の徳川光圀は「アカザ」という植物の根を材料にした杖を使用していたとも言われています。

アカザは長寿の象徴とされています。穴山の里奉仕班でもアカザの杖を作って、ミニ瓢箪を飾りにつけて、穴山の杜の利用者に誕生日のお祝いとして贈っています。

軽くて使いやすいと大好評です。



わ〜く穴山の里だより

多機能型事業所 わ〜く穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
Tel : 0551-25-5866
E-mail : work@sip-shinwakai.jp



6月から新たな事業展開として、利用をご希望される皆様方の要望に応え、定員数の変更を行いました。

「就労継続支援B型・生活介護」の2つのサービス事業と、ニーズや特徴に合わせた活動になるよう工夫を重ねながら、支援に当たっていききたいと思います。

就労支援面においては協力企業様の受託作業も安定しており、皆さんがんばっております。また、生産活動の空き時間を見つけては余暇活動にも取り組み、メリハリのある楽しい活動を行っております。

活動風景



ジャガイモ堀り

たくさん掘れました！！



サクランボ狩り

おいしいサクランボでした



ミニ野菜畑・グリーンカーテン

ししとう・ミニトマト・まめ・フウセンカズラ



穴山の杜だより

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp



例年になく寒暖の差が大きい梅雨になっておりますが、穴山の杜の通路沿いに咲いている色とりどりのアジサイの花がこの時期の鬱陶しさを忘れさせてくれます。まだまだ株も小型ですがあと数年すればもっと見栄えのするアジサイが楽しめますので期待しています。またこの花は土の酸性度、アルカリ度で花の色が変化しますので人工的に色の変化が楽しめます。

穴山の杜職員も間もなくやってくる夏祭りの準備に入りました。また多くの方々と交流できることを利用者ともども楽しみにしております。

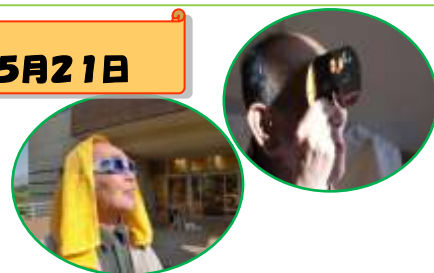
トピックス初夏編

金環日食観賞 5月21日



前日までの天気予報では曇り空かも？と空模様が心配されましたが、朝起きると、まぶしいくらいの太陽が出ていて、最高の金環日食の観賞日和となりました。

利用者も職員もメガネ片手に今か今かとその時を待ちました。太陽が月に隠れ始め少しずつ形を変える太陽、そしていよいよ太陽と月が重なりきれいなリングが現れると「わあー！！きれい！」と歓声が上がりました。世紀の天体ショーに酔いしれたひとときでした。



寿しバイキング 6月6日

今日の昼食は、皆さん楽しみにしていた寿しバイキング！！目の前で、板前さんの握ってくれる出来たてのお寿司に「おいしいね！」と笑顔がたくさんみられました。多くの利用者から、「おかわり」と声がかかり、自分の好きなネタの寿司を選んでお腹いっぱい召し上がりました。



懐かしの味

すいとん作り 6月9日

行事・ウ、給食委員会が主催にて、“すいとん作り”を実施しました。利用者様には、野菜の皮むきやカットして頂きました。身体が覚えているのでしょうか、野菜と道具をお渡しすると慣れた手つきで作業をして下さいました。皆さんが切って下さった野菜とすいとんを煮て、昼食に召し上がりました。「美味しい」という声も聴かれ、笑顔も見られました！



童謡の日記念コンサート 7月1日

杜、里の利用者そして地域の皆様が集まり童謡の日である今日、信和会ともゆかりのある大庭照子さんがみえて、音楽会を開催しました。

誰もが耳にしたことのある、お馴染みの童謡をいっしょに口ずさみながら楽しみました。

大庭さんの優しく美しい歌声に、心も癒されるすてきな音楽会でした。



先日、お亡くなりになられた利用者の御家族様よりお手紙をいただきました。施設で最後まで過ごされたお母様への思いや、施設への思いが綴られておりましたのでここにご紹介いたします。

穴山の杜 職員のみなさまへ

鶴1丁目ユニットで4年の長きにわたってお世話になりました伊藤あきえの家族です。

去る3月28日、穴山の杜スタッフの皆様のおかげで献身的な介護の中、母は98歳6カ月の長寿を穏やかに全うさせていただくことができました。

心からお礼申しあげます。

4月22日に父の眠る静岡県富士市のお寺に納骨を済ませ、三十数年離ればなれだった二人を同じ場所に暮らすことができましたので、私たち家族も気持ちにひと区切りつけてほっといたしました。

お礼とともにご報告させていただきます。

母は昨年秋頃より時々顎の関節が外れるようになって、私たち家族もいよいよ最後の時の事を考えなくてはならない時期がきたのかなあと感じるようになってきました。とは言っても食欲は旺盛で、食べることに積極的な様子を見ればまだまだがんばることが出来るかもしれないとも思われて、正直なところ気持ちは揺らいだりしておりました。

亡くなる前日の夕方、二、三日続いていた熱が薬を飲んででも下がらないので、家族にも様子を見てもらいたいの連絡を受けて母の部屋へ参りました。酸素吸入と点滴をしていただきながら、母は苦しそうな様子もなく穏やかな顔で横になっておりました。状況の説明の後、看護師さんが、『こう言っただけでは何ですが』とおっしゃりながら、『ご高齢ですので、万一ということも考えて準備をしておくことをおすすめします。』とのアドバイスを下さいました。私たちは覚悟が必要なのだと悟りました。この何カ月かの間、心の準備をしておくとはならないと考えるようになっていた私たちにとって、経験豊かな看護師さんのアドバイスは、時を得て大変ありがたいものでした。夜中も容体チェックはしっかりするので心配ないと言っていたいただきましたので、ひとまずスタッフの方々をお願いし、多少の準備をしておこうと帰宅しました。翌日の明け方、息を引き取ったとの連絡をいただいた時も私たちは、おかげさまで気持ちはとても落ち着いて母の死を受け入れることができました。

穴山の杜の皆様が、看取りの介護を実践していらっしゃることは存じておりましたが、介護していただいた母とともに家族の私たちまでも心穏やかにその時を迎えさせていただいたことを心から感謝しております。

・・・ 中 略

米寿を迎えた頃から私たちの助けが必要となり、5年程の在宅介護の後に穴山の杜へお世話になることになりました。勝ち気故になかなか人と上手に交わることが出来なかった母でしたが、穴山の杜ではスタッフの皆さんのやさしい介護に心を開いて、安心して生活していることがその表情からうかがえました。

家族の私たちも安堵して、介護で中断していた仕事を再開することが出来ました。母にとっても、家族の私たちにとっても、本当にしあわせな4年間だったと思います。ありがとうございました。

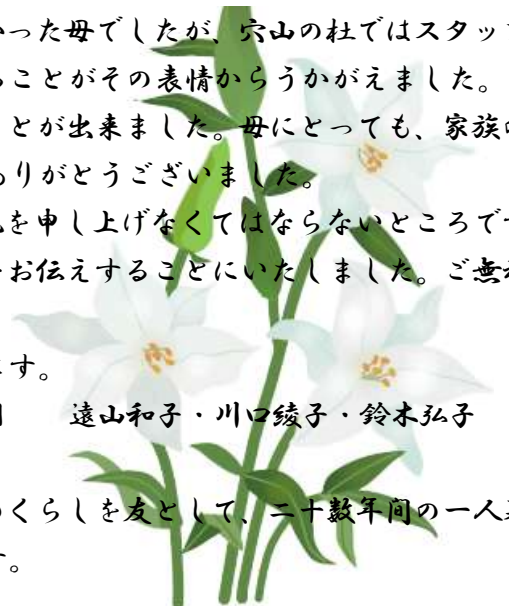
お世話になった穴山の杜の職員の皆様には、お一人お一人にお礼を申し上げなくてはならないところですが、なかなか難しいことと考えましたので書面にて感謝の気持ちをお伝えすることにいたしました。ご無礼をお許しください。

季節の変わり目の折柄、ご自愛下さいますようお願い申しあげます。

2012年4月25日 遠山和子・川口綾子・鈴木弘子

長き夜の 小布散らして 気ままかな

若い頃より得意だった裁縫と、60の手習いで始めた俳句を日々のくらしを友として、二十数年間の一人暮らしを気丈に楽しんでいたという、あきえ様の70歳半ばの句です。



お知らせ

韮崎市への申請を終え、7月1日付けで指定特定相談支援事業所「さくら」がオープンしました。障害をお持ちの方がサービス利用計画を作成する際のお手伝いをいたします。

お気軽にお問い合わせ下さい。

連絡先は 0551-25-6100

担当 伊藤 美鈴

感謝録

長田一人・佐藤正文・鈴木弘子・平出光彦・小池 一
韮崎調剤薬局・貝瀬 勝政・みらいファーム・山梨品川燃料

(平成24年3月16日から平成24年6月15日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

☆ボランティア

佐藤まゆみ・保坂喜久代・仲田ふみ子・藤巻幸枝
山口慶子(初花会)・大矢明子(松山会) 千野 公洋(太鼓)
角田 恵子(安来節)・塩澤 徹也・石澤 一恵
横森明日香

訪問録

(平成24年3月16日から平成24年6月15日)

☆教育実習 (敬称略)

帝京福祉専門学校

功刀望里・望月和奈・佐々木千尋・有井美里

板山友佳

優和福祉専門学校

山田千奈美・阪本千春・渡辺さなえ・居也奈月

神尾正美・高石政洋

山梨県歯科衛生専門学校

彰栄保育福祉専門学校

大塚達也・橋本健太

山梨学院短期大学

安田大介・佐野広喜

彰栄保育福祉専門学校

笠倉侑・半田美沙希

優和福祉専門学校

小川佳子・篠原成・山本・中村・河野)

韮崎東中学校

1年5組清水先生・生徒29名

☆施設研修 (敬称略)

わかば支援学校

安藤このみ・植松真紀・茅野啓高

かえで支援学校

内藤知邑

☆施設見学 (敬称略)

優和福祉専門学校50名

第27回 地域ふれあい 夏祭りのご案内

日時:8月4日(土) 17:00~20:00

場所:穴山の杜 芝生広場

信和会では今年も例年通り「夏祭り」を開催いたします。関係者の皆様をはじめ多くの地域の皆様と楽しんでいただけるような充実したプログラムを企画しております。

★☆☆プログラム予定★☆☆

星野ひなこミニコンサート・穴山太鼓・打ち上げ花火
生バンド演奏・フラダンス披露・各事業所発表

★☆☆出店★☆☆

もろこし・カキ氷・ポン菓子・焼きそば・きゅうり串
フランクフルト・焼き鳥・じゃがバター・わた菓子
各種飲み物

地域全戸へのご案内は差し上げませんが皆様お誘い合わせのうえお出かけください。



編集後記
梅雨に入り、雨が続いた
と思うと、三十度を越える
暑さの日もあり、皆様体調
など崩されていませんで
しょうか。
私は穴山の里の元氣よ
く咲くひまわりを見ては
よし！今日も頑張ろうと
パワーをもらっています。